

平成 20 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「貧困住民のための野生蘭保護・栽培施設改善計画」竣工式

2011 年 8 月 26 日、在パナマ日本国大使館は、エル・バジェ及びカブジャ地方蘭生産者協会との間で、「貧困住民のための野生蘭保護・栽培施設改善計画」竣工式をコクレ県アントン市の野生蘭保護センターにて行いました。

署名式には、フリオ・ロドリゲス・エル・バジェ町長、ラウラ・デ・エレラ協会会長、及び三輪参事官が参列しました。

式の中で三輪参事官は、「同協会はパナマの野生蘭を保護する唯一の団体であり、JICA のボランティア派遣などを通して、日本政府が積極的に支援してきた団体です。国内有数の観光地であるエル・バジェに所在する野生蘭センターが、今回の供与を通して、観光拠点としてのみならず、貴重な蘭の保護拠点として益々活用されれば幸いです。」と述べました。

また、ラウラ会長は、「日本政府の支援のおかげで、協会設立時からの目標であったセミナー室の建設を達成でき、とても感謝しています。今後も、蘭や環境保護の重要性を広く知ってもらえるよう、活動を続けていきたいです。」と挨拶の言葉を述べました。



テープカットをするラウラ会長と三輪参事官



地域の子ども達と

プロジェクトの内容

被供与団体: エルバジェ及びカブジャ地方蘭生産者協会

(Asociación de Productores de Orquídeas de El Valle y Cabuya : APROVACA)

供与内容: 野生蘭センターへの進入路の整備及びセミナー用施設建設 (61,393 米ドル≒6,937,409 円)

概要: 被供与団体は絶滅の危機に瀕するパナマの蘭の固有種を保護し、環境に配慮した観光を促進する目的で、JICA シニアボランティア及び当地環境庁の支援を得て 2001 年に設立されました。現在、コクレ県アントン市のエル・バジェにおいて野生蘭センターを運営しています。エル・バジェは国内有数の観光地である一方で、被供与団体は、蘭センターへの入り口がわかりにくいために、多くの入場者を呼び込めませんでした。また、エコツーリズムのガイド育成を目的としたセミナー用施設が狭隘であり、ガイド育成を促進できずいたため、当館へ協力要請を行ってきました。現在は、主要道路から蘭センターへのアクセスが容易になり、セミナー用施設では約50名に対してセミナーを開催できるようになりました。